

## この小さい者たちにしたのは

(マタイ25・31〜46)

## 一、小さい者たちをめぐって

「小さい者たち」とはだれなのか。これは、古代教会の時代より問われてきたことのようにです。そのような場合に、どう探っていったら良いのでしょうか。判断材料は聖書です。後ほど、試みたいと思います。

## 二、すべての人々をさばく

神は、すべての人々をさばかれます。それは、いつのことなのでしょう。31節をご覧ください。へ人の子は、その栄光を帯びてすべての御使いたちを伴って来るとき、その栄光の座に着きます。と、主イエスはおっしゃいました。これは、世の終わりにおける、キリストの再臨のことです。32節をご覧ください。そして、すべての国の人々が御前に集められます。と語られています。御前に集められる、すべての国の人々とは、その時代に生きている人々だけでなく、全時代の、すべての人々です。壮大な光景です。そこには、善人も悪人も入っています(↓ヨハネ5・27〜29を参照)。こうして、さばきが始まります。32節後半と33節です。へ人の子は、羊飼いが羊をやぎからより分けるように彼らをより分け、羊を自分の右に、や

ぎを左に置きます。とあります。そして、人の子であるキリストは次のように語られます。34節です。それから王は右にいる者たちに言います。『さあ、わたしの父に祝福された人たち。世界の基が据えられたときから、あなたがたのために備えられていた御国を受け継ぎなさい。』と。さらに語られます。35節、36節です。へあなたがたはわたしが空腹であったときに食へ物を与え、渇いていたときに飲ませ、旅人であったときに宿を貸し、わたしが裸のときに服を着せ、病気をしたときに見舞い、牢にいたときに訪ねてくれたからです。』と。ところが彼らには、イエスマンに良いことをしたという意識はありません。そうなのです。これが、主から「正しい人たち」と言われた者たちの姿です。「私がやりました」と言う意識がないのです。ゆえに、キリストに質問をしています。37節、38節、39節です。すると、その正しい人たちは答えまなを見て食へさせ、渇いているのを見て飲ませて差し上げたのでしょうか。いつ、旅人であるのを見て宿を貸し、裸なのを見て着せて差し上げたのでしょうか。いつ私たちが、あなたが病気をしたり牢におられたりするのを見て、お訪ねしたのでしょうか。』と。王であるキリストは答えられます。40節です。すると、王は彼らに答えます。『まことに、

あなたがたに言います。あなたがたがこれらのわたしの兄弟たち、それも最も小さい者たちの一人にしたことは、わたしにしたのです。』と。では、ここで語られている「最も小さい者たちの一人」は、だれを指しているのでしょうか。

## 三、小さい者たちの一人とは

「小さい者たち」とは、社会的弱者のことでしょうか。そのように語られると、キリスト者であっても、キリスト者でなくても、一様に納得してしまうことではありません。ですが、主イエス・キリストがおっしゃったのは、へこれらのわたしの兄弟たちでした。そうしますと、主イエスがへこれらのわたしの兄弟たち、それも最も小さい者たちの一人にしたことは、キリストを信じる者に対してしたことは、キリストに信じたのであるという意味になります。ところがそう解釈しますと、キリストを信じる者は抵抗を覚えます。「自分に良くしてくれたのは、キリストに良いことをしたという意味である」と考えるのは、自己中心的で、虫のいい話である」となるわけです。ですが主イエスのおことばによれば、小さい者とはキリストを信じる者の意味としか考えられません(↓マタイ10・42を参照)。主イエス・キリストを信じる者は、「小さい者」なのです。言い方を変えるなら、

自分が「小さい者」であると認めなければ、信じることはできないのです。ならば応用として、こういうことも言えます。

皆さんは自分自身が嫌になり、愛想を尽かしたくなることはないでしょうか。自分が神の作品であることは分かる。神が自分を愛してくださっていることも分かる。しかし自分に呆れてしまい、愛想を尽かしてしまうのです。その人に主はおっしゃいます。へこれらのわたしの兄弟たち、それも最も小さい者たちの一人にしたことは、わたしにしたのです。』と。ということは、キリストを信じている、この小さい者である自分をも、受け入れることがみこころです。そうすることにより、キリストは次のように語ってくださいます。へあなたがたはわたしが空腹であったときに食へ物を与え、渇いていたときに飲ませ、旅人であったときに宿を貸し、わたしが裸のときに服を着せ、病気をしたときに見舞い、牢にいたときに訪ねてくれたからです。』と。反対に、キリストを信じている自分を受け入れず、否定し続けるなら、42節、43節のようになります。へおまえたちはわたしが空腹であったときに食へ物をくれず、渇いていたときに飲ませず、わたしが旅人であったときに宿を貸さず、裸のときに服を着せず、病気のときや牢にいたときに訪ねてくれなかった。』と。